前例なき民間資本による鉄道車両製造会社の設立にチャレンジした創業者奥田正香の「進取の精神」



奥田正香

鉄道建設ブームによる車両不足や鉄道網整備の将来性にいち早く着目した創業者の奥田正香は、今後、日本の鉄道がますます発展すると考え、鉄道事業に何ら関わりを持たない白紙の状態にもかかわらず、「進取の精神」で当社の創業を計画しました。当時、民間人が車両製造の会社を設立した前例が無い中で、「名古屋で国産の汽車を」という信念を貫き、その計画を果断に実行した奥田正香の精神は、日本車両の「原点」です。

そんな奥田正香のパイオニア精神は時代を超えて引き継がれ、当社はこれまで日本初のバス製作や日本初の地下鉄車両納入、世界初の三点式パイルドライバーの開発など、常に時代に先駆けてさまざまな事業にチャレンジしてきました。



熱田本工場 機関車工場



熱田本工場



日本初のバス製作



庄内橋



日本初の地下鉄車両納入

INDEX

日本車両の価値観・価値創造

1 創業の精神・目次
2 企業理念・私たちの行動指針
3 価値創造のあゆみ
4 価値創造プロセス
5 日本車両の強み
6 社会的インパクト
7 トップメッセージ

成長戦略

13 中期経営計画「Next Stage 2030」
16 サステナビリティ経営・企業価値向上に向けた取り組み
18 事業戦略(概況)
19 事業戦略(鉄道車両事業)
20 事業戦略(建設機械事業)
21 事業戦略(輸送用機器・鉄構事業)
22 事業戦略(エンジニアリング事業)
23 研究開発
26 DX戦略

戦略推進のための取り組み

28 人材戦略
30 社会との共創
32 環境戦略

コーポレート・ガバナンス

36 社外取締役鼎談
40 コーポレート・ガバナンス
43 役員紹介

成果と企業情報

44 財務ハイライト(連結)
45 財務データ(連結・10年分)
46 企業情報

編集方針

当社では、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、株主・投資家の皆様をはじめ、多くのステークホルダーとの対話の充実に努めており、その活動の一環として、「日本車両レポート」を2022年より発行しています。「日本車両レポート」は、当社の財務情報に加え、事業戦略やESG情報等の非財務情報に関する総合的な取り組みをステークホルダーの皆様にお伝えするものです。2026年版では、新たに策定した企業理念や中期経営計画等を踏まえ、当社が今後どのような価値を創造し、持続的な成長と競争力強化を実現していくのかについてお伝えすることを特に重視しました。

なお、編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にしています。

【見通し等に関する注意事項】

本誌に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社及び子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。なお、本誌は原則として、2026年6月末までの情報に基づき作成されています。

※金額は単位未満を切り捨て、その他の数値は単位未満を四捨五入して表示しています。